

【ウィナーズカップ 競技規定 2006】

1 代表者会議で説明または決められた事項は、チーム全員に徹底させること。

2 特に定められた以外は、2006度公式野球規則による。

3 試合方法

(1) 試合時間 1時間30分

【1】 1時間20分以降。新しいイニングに入らない

【2】 5回以降、得点差7点以上の場合コールドゲームとする

【3】 降雨により試合続行不可能の時は、5回以降コールドゲームを適用する

【4】 上記【3】の条件に満たないときはノーゲームとし、後日再試合を行う

(2) ブロック別予選リーグ戦適用事項

【1】 勝率順位制とし、A・Bブロック上位3チーム、Cブロック上位2チームの計8チームで決勝トーナメントを行う

【2】 同率の場合、直接対決で勝者のチーム

【3】 上記【2】で決しない場合、チームの得点率の高い方を上位とする

【4】 上記【3】で決しない場合抽選とする

(3) 決勝トーナメント適用事項

【1】 試合時間内に勝敗に決しない場合、前軟連特別規則二、(2)・(3)を適用する

【注】 準決勝まで 二・延長戦2(2)を1イニング行い、(3)を適用し、決勝戦は(2)を適用する

【2】 その他「3-(1)」を適用する

【注】 決勝戦は「(1)-2」は適用しない

4 試合の有無

(1) 天候による試合の順延・変更は、試合当日に決定する

【注】 第一試合の選手・審判は、試合の有無に関わらず30分前までに会場へ集合すること

(2) 順延・変更の決定権は、立ち会い当番チームが有する

(3) 順延・変更の確認は(第二試合以降)、各チーム立ち会いに連絡すること

(4) 試合の有無について、会場への問い合わせは一切厳禁とする

(5) 中止の場合、その試合の開催期日・会場については後日実行委員会より連絡する

(6) 試合日程の賛否は、連盟・大会事務局に2週間前(事務手続き上)までに連絡すること(厳守)。但し試合の組み替えは行わない

5 試合球

(1) 公認A号ボールとする

(2) 各チームより持ち出しとし、ニューボール2個(天候により3個の場合あり)を試合当日提出する

6 用具

(1) バットは全日本軟式野球連盟公認(J.S.B.B)のマーク入りであること

(2) グラウンド内での素振りバット(マスコット含む)の使用は許可するが、グラウンド内の地面に置くことは許されない

【注】 素振り用として、リング・鉄パイプなど危険と思われる物を試合場内へ持ち込むことを禁止する

(3) 捕手は危険防止のため、必ず全日本軟式野球連盟公認マスク・ヘルメット・レガースを着用すること

7 抗議・タイムの要求

(1) 抗議できるのは、監督及び、主将と当事者プレイヤーのみとする。但し規則適用上の問題に限る

(2) タイムはプレイヤーの要求したときではなく、審判員の認めたときである

(3) 守備側からのタイム要求で試合が停止されたときは、その間投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない

8 登録選手

(1) 選手登録されたもの以外は、試合に出場できない

【注】 主審と対戦チームの同意があれば、当日欠員の場合1名に限り認められる

(2) 選手登録されていても、当日のメンバー表に未記入の選手は試合に出場できない

(3) 選手登録の変更期日は、以下とする

1次・・春期代表者会議から、開会式当日まで

2次・・予選リーグ終了から決勝トーナメント前日まで

【注】 大会参加関係の変更は、書面をもって手続きのこと。手続きは連盟・大会事務局か、実行委員に提出のこと

9 審判委員

(1) 参加チームは審判委員を登録し、試合準備大会運営に協力すること

(2) 審判委員は各チーム3名以上選出し、主審は日程表左側(一塁側)のチームが務める

(3) 審判委員は試合前に「両チームに試合球の提出」「先行・後攻の決定」

「メンバー表の交換(登録名簿確認)」「水撒き」を行い、試合後、結果報告書を提出する

【注】 メンバー表・登録名簿は大会事務局にて用意します

(4) グラウンド整備・ライン引きは試合前(後)、対戦チーム同士が行い、

チーム代表者が確認する(ベンチ内も確認する)

【注】 実行委員は補助を行わない

10 不戦敗規定(ペナルティ)

(1) 試合成立人数(9名)未達

(2) 審判員不在(3名)未達

(3) 事前連絡なしの不出場

(4) 試合時間開始遅れ。(5分前に集合をかけ、試合開始の宣告をする)

【注】 上記(2)(3)(4)に該当したチームは5000円の罰金、次試合の出場停止(1試合)、指定試合の審判(6名)を段階的に科す

11 規定変更

- (1) 規定変更は、代表者会議の3分の2出席(委任を含む)と半数以上の同意により決定する
(実行委員改選も含む)

(1995年3月30日 作成)
(1996～2002年3月30日各年同日 一部改正)
(2004年3月30日 全面改正)

【ウィナーズカップ 競技規定内規】

大会参加義務事項

- 1 野球帽・ユニホームの着用・背番号貼付
 - (1) 未着の場合、不戦敗も認められる
【注】 審判員は、当該チームの責任者に改善を求めること
 - (2) ポイント式スパイクの使用を推奨する
 - (3) 参加選手の背番号のうち、監督30番・主将10番とする(第16回大会は推奨)
- 2 試合における申告事項は、メンバー表交換の際に主審・相手チーム責任者に伝達し。了承を得ること
- 3 ストライク・ボール・アウト・セーフ・フェア・ファールなどの判定に対する抗議、相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁とする
- 4 審判員の服装は、野球帽・グラウンドコート(又はジャンパー若しくは、ユニフォームの上着を脱ぐ)・運動靴の着用とする
【注】 半ズボン・サンダルは厳禁とする
- 5 試合会場について
 - (1) 使用に際しては、実行委員の指示に従うこと
 - (2) 試合時には、ゴミ袋等を持参して、ゴミは持ち帰ること
 - (3) たばこは灰皿のある場所以外では吸わないこと【注】ベンチ内喫煙厳禁とする
 - (4) グラウンド以外では、スパイクを履かないこと
 - (5) 最終ゲームのチームは、グラウンド・ベンチの後片付けを行うこと
 - (6) 各会場における駐車場所では、地域住民の迷惑にならないように十分注意すること
【注】 大声・音響・エンジン音等、騒音にはお互い注意しあうこと
 - (7) 大会本部には、実行委員・代表者伊賀には立ち入り禁止とする
- 6 安全面から救急箱の形態を推奨する。また、万一の事故の備えて、各チームでスポーツ保険に加入することを推奨する
【注】 大会中の事故及び負傷については、各チームにおいて処理すること。
執行委員会はその責に応じない